



## 発想の転換 持続可能な制度をめざして！

茨城県行政書士会

会長 國井 豊

記録的な長雨や、気温の差の著しかった夏も終わり、名実ともに実りの秋を迎えました。会員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

日頃は、会運営に対し力強いご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。感謝を成果へとしっかり結びつけたいと思います。さらなるご指導、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

総会以降、攻めの業務執行を展開しております。行政書士制度は、社会制度、社会正義であり、行政をはじめとする公的組織との連携強化の重要性はいうまでもありません。各業務部と県行政担当課との意見交換を兼ねた制度推進は、諸課題解決の糸口に迫り、執行の円滑化、制度を理想へと近づけます。県内数か所で試みている農業委員会窓口での立ち合い調査や、建設業経営者研修会での非行政書士排除による市民の権利擁護等々、こうした意見交換が契機となりました。

しかし、一朝一夕に形になるわけではありません。信頼関係ある徹底した議論のもと、行政の理解によって実現の運びとなったのです。もちろん、すべての起点や終着点は、世のため、人のためであり、これまでに蓄積された経験と実績に裏打ちされた、正鵠を射た提言によって、はじめて可能となるのです。

また、そうした場合は、職員の皆さん、特に新たに担当となられた方々や、許認可関係部署が初めての方々に、制度を認知していただく絶好の機会となります。「行政書士の業務を理解した」「業域が広範囲なことに驚いた」等々、新たな応援団の創出に繋がることとな

るはずです。一方で、驚嘆と自省の念にも駆られ、制度の認知度向上、行政書士の知名度アップの必要性を、強く再認識させられました。絶え間ない地道な活動と、可能な限りの展開によって、さらに制度PRを図ってまいりたいと考えております。

ところで、堅調に推移した会員数の増加も、足踏み状態となり、遠からず減少に転じるような気配です。前年度、見込んだ新入会員数に大きく届かず、厳しい財政運営を強いられました。社会全体が縮小傾向となり、「持続可能」が重要なキーワードとなっています。制度への期待、行政書士の社会的使命は、これからも飛躍的に向上するはずです。会務も多岐に亘る展開が求められ、財政需要も膨らみます。当然にして、支出削減はもとより、収入増をも図らなければなりません。

しかしそこには、収益を前提としない、組織の限界があります。そうした枠組みの中で、今号から、関連企業による広告を募り、掲載させていただくことを試みました。拡がれば、財政に貢献するはずです。この展開を端緒に、様々な収入源を模索してまいります。そうすることで、未来永劫続く、行政書士制度、茨城県行政書士会へと発展させ、制度理念を満足させたいと思います。

ご健康、ご活躍をお祈りいたします。